

“親なき後”の暮らしに関するアンケート調査結果の概要

1. 調査の実施概要

(1) 調査の目的

障害のある人の重度化や高齢化がすすみ、“親なき後”の支援を必要とする人が増えるなかで、“親なき後”の生活を地域で支える取り組みをすすめるために、寝屋川市は障害福祉計画に基づき「親亡き後等の問題検討委員会」を設置しました。検討会において“親なき後”等の生活や支援に関する課題の把握と整理を行ううえで、障害者ご本人や親御さんの意識や実情を把握するため、本調査を実施しました。

(2) 調査の対象

現在または近い将来に親なき後の問題に直面する可能性が高い年代として、令和5年2月1日現在で40歳代、50歳代の障害者手帳を所持している市民の方を対象としました。

(3) 調査の方法

郵送で配付、回収を行う、自記式質問紙法で実施しました。

調査票は令和5年3月3日に投函し、3月22日を回答の締め切りとしました。

なお、できるだけ多くの方のご意見を集約するため、5月8日までに到着したものは有効として集計に加えました。

(4) 調査票の回収状況

発送数2,921通のうち、宛て所不明で返還された42通を除く有効発送数2,879通に対して、有効回収数は1,233通で、有効回収率は42.8%でした。

(5) 調査の集計・分析について

この調査結果の概要は、単純集計、障害別集計を中心として整理したものです。また、親なき後の支援として考えられる項目ごとに、関連する選択肢項目のデータと主な記述回答の要旨を、一覧表として書き出しました。

本調査は、回答者の負担軽減やプライバシーへの配慮（必要以上のことを質問しない）の観点から、問9で“親なき後”や将来の生活に「特に心配なことや不安はない」と答えた人は問10以降の回答は不要としましたが、問9で「特に心配なことや不安はない」としつつ、問10の具体的な項目には心配や不安があると答えられた人などもいることから、問10以降の項目も回答者全員を対象として集計しました。そのため、問10以降は無回答・非該当の割合が多くなっています。

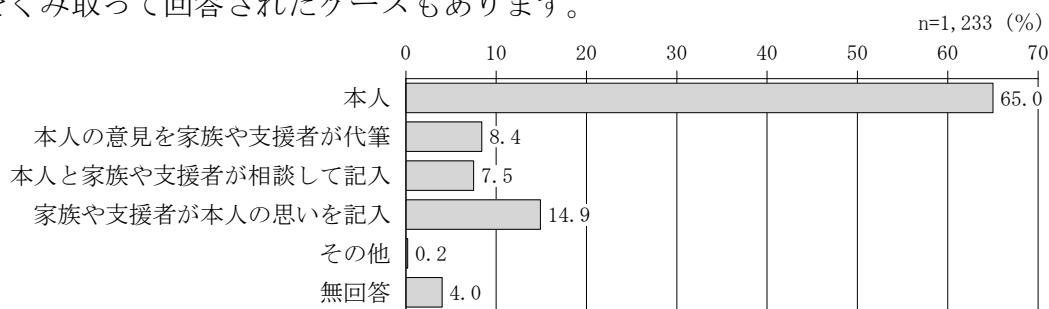
障害別集計は、問4（障害の種別）の回答に基づくもので、障害者手帳の取得状況とは一致しない場合があります。また、複数の障害を回答された場合はどの障害が回答に影響しているかの判別はできないことから、障害別集計に基づく整理は主要な項目のみに絞っています。

2. 調査の集計結果

(1) 回答者の障害や生活の状況について

問1 この調査票はどなたが記入されますか。

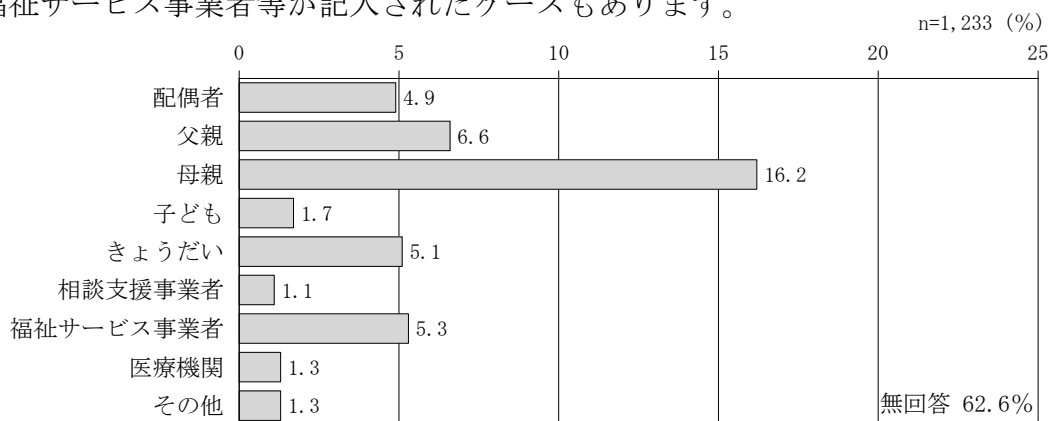
回答者全体では調査対象の障害者ご本人が回答されたケースが多く、ご本人の意見の代筆やご本人と家族や支援者が相談されたケースを含め、約8割はご本人の意向が直接的に反映されていると考えられます。一方、家族や支援者がご本人の思いをくみ取って回答されたケースもあります。



ご家族や支援者が記入や相談した方におたずねします。

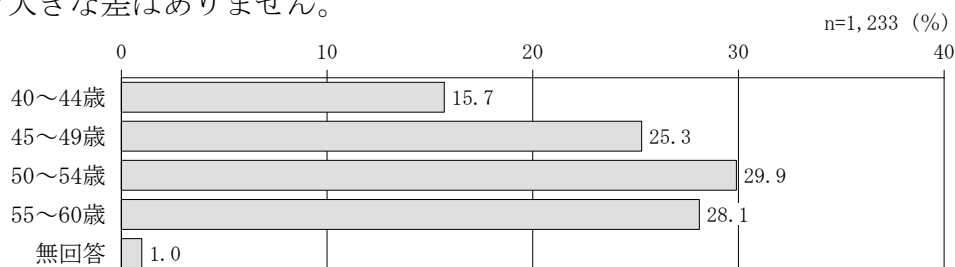
問1-① 記入・相談した方はどなたですか。(複数回答可)

問1でご本人と回答した人や無回答でも記入した人がいるため、回答者全体を対象として集計しました。母親をはじめ家族が記入・相談されたケースが多いですが、福祉サービス事業者等が記入されたケースもあります。



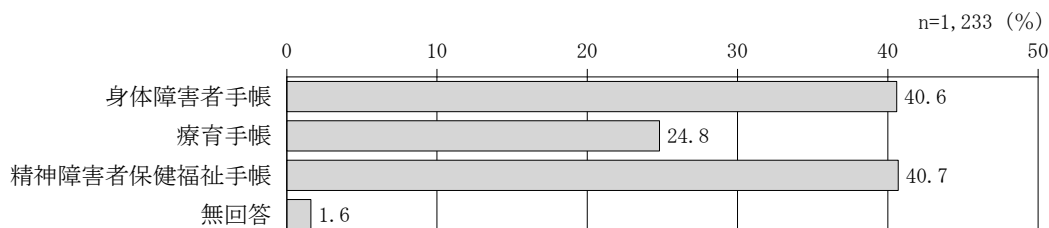
問2 あなた（ご本人）の年齢は。

回答者の年齢は下のグラフのとおりです。なお、調査対象者の年齢は40～44歳が16.3%、45～49歳が25.0%、50～54歳が31.1%、55～59歳が27.6%で、回答者の年齢構成と大きな差はありません。

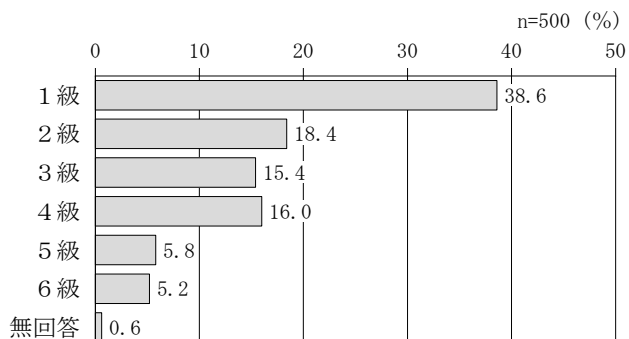


問3 あなた（ご本人）がお持ちの障害者手帳の種別と等級・判定は。（複数回答可）

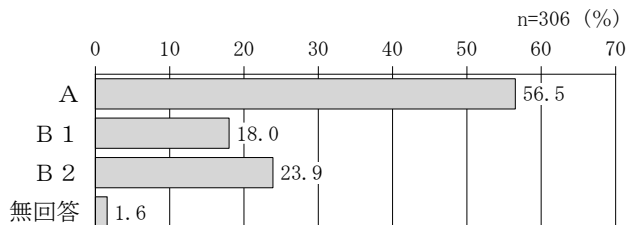
回答者の障害者手帳の状況は下のグラフのとおりです。調査対象者の手帳の取得状況（重複も含む）は身体障害者手帳が40.9%、療育手帳が18.1%、精神障害者保健福祉手帳が40.9%で、療育手帳所持者の回答率が高くなっています。



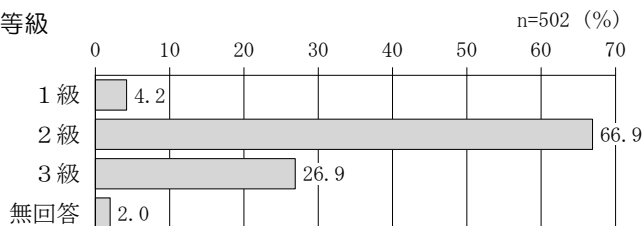
身体障害者手帳の等級



療育手帳の判定

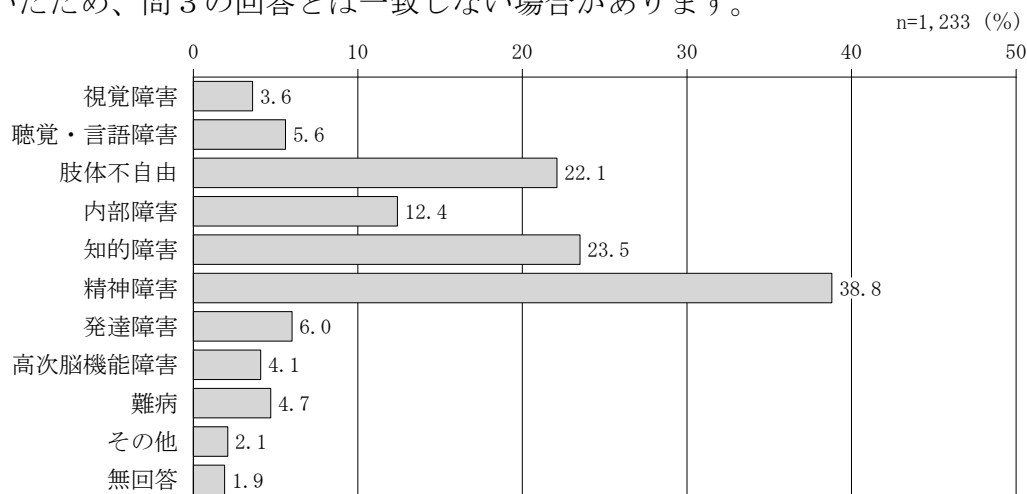


精神障害者保健福祉手帳の等級



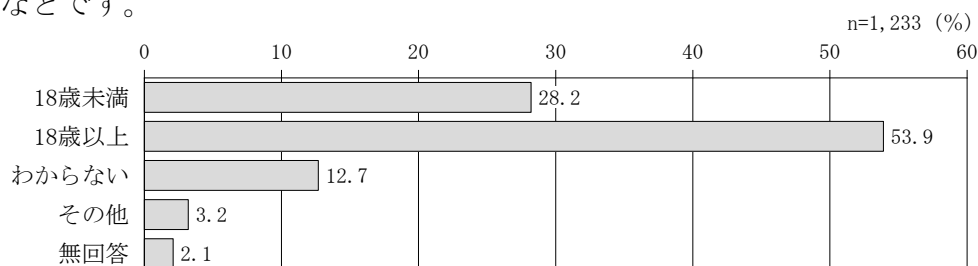
問4 あなた（ご本人）の障害の種別は。（複数回答可）

障害種別は下のグラフのとおりです。障害者手帳の有無は問わずに回答していただいたため、問3の回答とは一致しない場合があります。



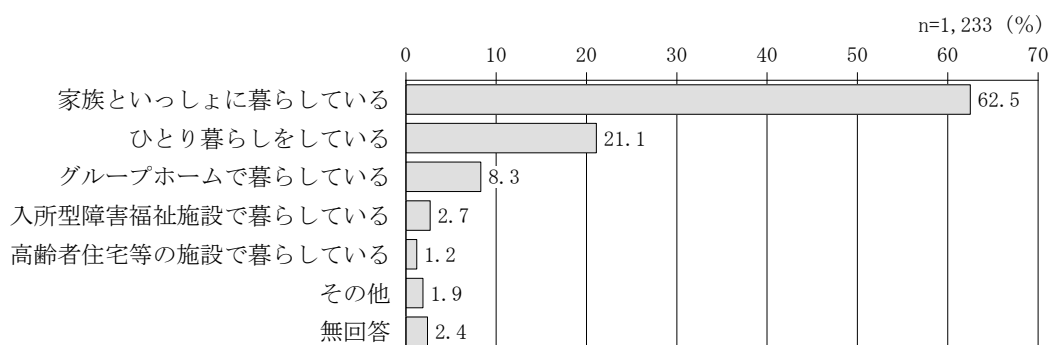
問5 あなた（ご本人）が障害に気づいた時期は。

障害に気づいた時期は下のグラフのとおりで、「わからない」と答えた人もいます。なお、「その他」では年齢ではなく、病気や事故などの要因などが記載されたケースなどです。



問6 あなた（ご本人）は、現在、どのような暮らし方をしていますか。（複数の場合は、主たる暮らしの場をお答えください。）

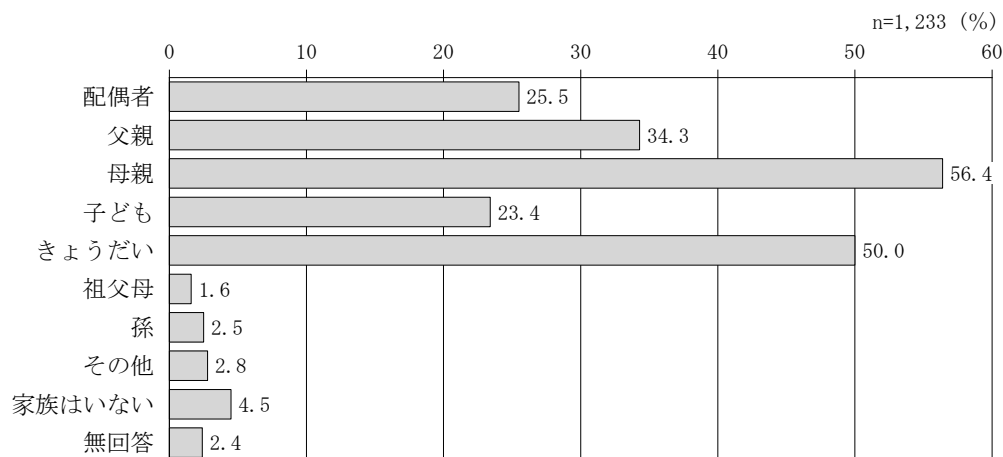
現在の暮らし方（暮らしの場）は下のグラフのとおりです。グループホームを利用し週末は自宅に帰られる方などはグループホームとして集計しています。居住系のサービスを利用している人は実数で150人で、うち1割にあたる15人は高齢者住宅などの障害福祉以外の施設で暮らしていると回答されています。



問7 あなたのご家族は（同居していない人も含めて）。（複数回答可）

家族の状況は下のグラフです。同居以外の人も含めていただくよう質問しましたが、問15（親なき後に介助や支援をしてくれる人）の回答などと矛盾するケースもあり、不正確な場合もあると考えられます。

障害別では、いずれも「母親」と「きょうだい」が多く、知的障害、発達障害、精神障害以外では、「配偶者」や「子ども」も比較的多くあげられてれています。



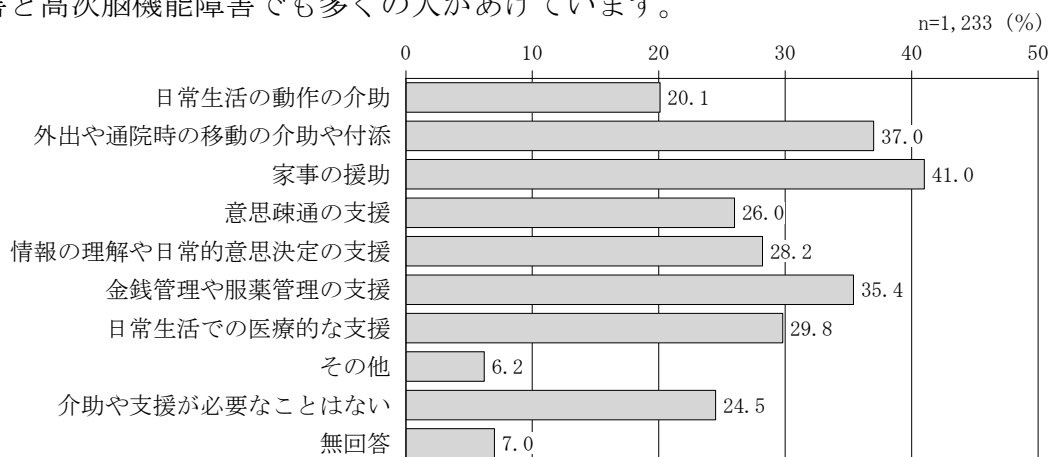
障害の種別 × 同居していない人も含めた家族（抜粋）

上段：実数 下段：%		同居していない人も含めた家族（抜粋）					
		全体	配偶者	父親	母親	子ども	きょうだい
障害の種別	全体	1,233	315	423	696	288	616
		100.0	25.5	34.3	56.4	23.4	50.0
	視覚障害	44	16	21	26	10	24
		100.0	36.4	47.7	59.1	22.7	54.5
	聴覚・言語障害	69	24	28	37	24	33
		100.0	34.8	40.6	53.6	34.8	47.8
	肢体不自由	272	105	85	146	83	130
		100.0	38.6	31.3	53.7	30.5	47.8
	内部障害	153	72	40	68	56	58
		100.0	47.1	26.1	44.4	36.6	37.9
	知的障害	290	13	130	201	13	172
		100.0	4.5	44.8	69.3	4.5	59.3
	精神障害	479	94	161	278	99	247
		100.0	19.6	33.6	58.0	20.7	51.6
	発達障害	74	9	39	53	9	48
	100.0	12.2	52.7	71.6	12.2	64.9	
高次脳機能障害	50	16	9	26	15	24	
	100.0	32.0	18.0	52.0	30.0	48.0	
難病	58	23	15	27	21	29	
	100.0	39.7	25.9	46.6	36.2	50.0	
その他	26	2	8	15	1	13	
	100.0	7.7	30.8	57.7	3.8	50.0	

問8 あなた（ご本人）は、障害のために、だれかの介助や支援が必要なことがありますか。（複数回答可）

「介助や支援が必要なことはない」と無回答以外の7割近くが、生活に関してなんらかの介助や支援が必要だと答えており、必要な支援は多岐にわたっています。

障害別では、「家事の援助」と「外出・移動の介助」は多くの障害で多くあげられ、肢体不自由と難病では「日常生活動作の支援」、聴覚・言語障害と発達障害では「意思疎通の支援」、視覚障害、内部障害、難病では「医療的な支援」が多くあげられていきます。また、知的障害と発達障害では「情報の理解や意思決定の支援」と「金銭管理・服薬の支援」が多くあげられ、「金銭管理・服薬の支援」は精神障害と高次脳機能障害でも多くの人があげています。



障害の種別 × だれかの介助や支援が必要なこと（抜粋）

上段：実数 下段：%		だれかの介助や支援が必要なこと（抜粋）								
		全体	日常生活の動作の介助	外出や通院時の移動の介助や付添	家事の援助	意思疎通の支援	情報の理解や日常的な意思決定の支援	金銭管理や服薬管理の支援	日常生活での医療的な支援	その他
障害の種別	全体	1,233	248	456	506	320	348	437	368	77
		100.0	20.1	37.0	41.0	26.0	28.2	35.4	29.8	6.2
	視覚障害	44	16	33	22	15	12	17	18	2
		100.0	36.4	75.0	50.0	34.1	27.3	38.6	40.9	4.5
	聴覚・言語障害	69	20	31	25	31	19	22	23	7
		100.0	29.0	44.9	36.2	44.9	27.5	31.9	33.3	10.1
	肢体不自由	272	106	136	116	55	56	86	82	20
		100.0	39.0	50.0	42.6	20.2	20.6	31.6	30.1	7.4
	内部障害	153	11	28	24	14	13	17	27	9
		100.0	7.2	18.3	15.7	9.2	8.5	11.1	17.6	5.9
	知的障害	290	118	182	186	168	183	216	147	15
		100.0	40.7	62.8	64.1	57.9	63.1	74.5	50.7	5.2
	精神障害	479	53	144	220	113	137	169	142	34
		100.0	11.1	30.1	45.9	23.6	28.6	35.3	29.6	7.1
	発達障害	74	13	25	30	31	36	31	30	5
		100.0	17.6	33.8	40.5	41.9	48.6	41.9	40.5	6.8
高次脳機能障害	50	18	30	27	25	23	29	18	3	
	100.0	36.0	60.0	54.0	50.0	46.0	58.0	36.0	6.0	
難病	58	22	29	22	10	9	17	23	5	
	100.0	37.9	50.0	37.9	17.2	15.5	29.3	39.7	8.6	
その他	26	7	10	9	7	8	9	7	3	
	100.0	26.9	38.5	34.6	26.9	30.8	34.6	26.9	11.5	

介助や支援が必要な方におたずねします。

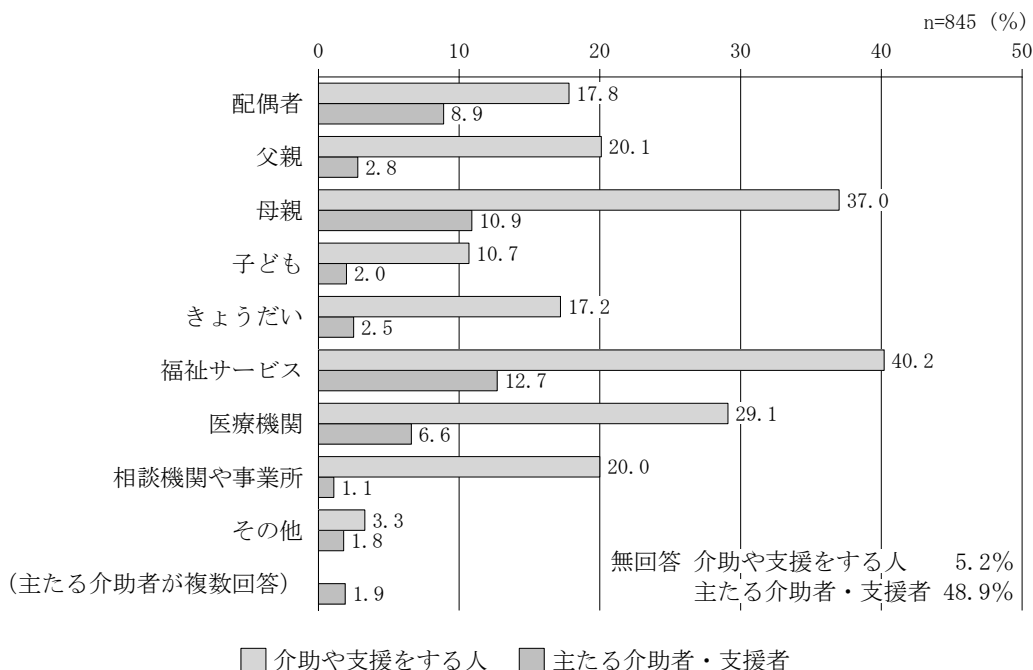
問8-① どなたの介助や支援を受けていますか。(複数回答可)

複数の場合は、主たる介助者・支援者に◎を付けてください。

介助者・支援者として家族や福祉事業所、医療機関などがあげられています。

主たる介助者・支援者も質問しましたが回答した人は多くなくありませんでした。なお、1つのみ○が付いたケースは、○が主な介助者・支援者として集計しました(※)回答が少なかった要因として、回答方法がわかりにくかったことや、複数回答された方がおられるように、主たる方を絞ることが難しい方もおられたことなどが考えられます)。

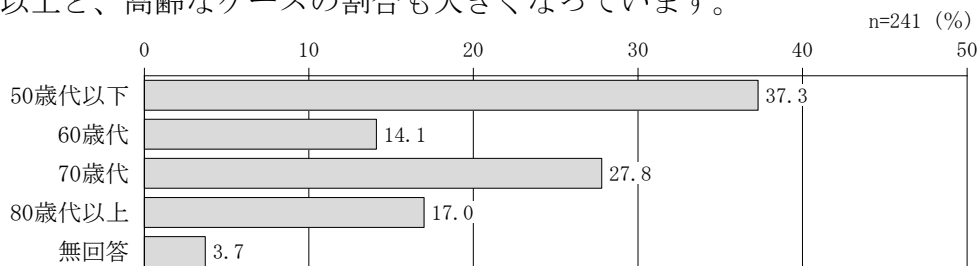
障害別では、「母親」はすべての障害で、「福祉サービス事業所」もほとんどの障害で多くあげられています。視覚障害と知的障害では「父親」、聴覚・言語障害、視覚障害、高次脳機能障害では「配偶者」が多くあげられ、内部障害、精神障害、難病、肢体不自由、発達障害では「医療機関」も多くあげられてれています。



ご家族の介助や支援を受けている方におたずねします。

問8-② 最も中心的に介助や支援をされている人の年齢は。

主な介助者・支援者として家族をあげた人に質問しました。半数近くが70歳代、80歳代以上と、高齢なケースの割合も大きくなっています。



障害別では、知的障害では70歳代と80歳代以上が66.2%と、特に割合が大きくな

っています。

障害の種別 × 介助や支援をする人（抜粋）

上段：実数 下段：%		介助や支援をする人（抜粋）								
		全体	配偶者	父親	母親	子ども	きょうだい	福祉サー ビス	医療機関	相談機関 や事業所
障害 の 種 別	全体	845	150	170	313	90	145	340	246	169
		100.0	17.8	20.1	37.0	10.7	17.2	40.2	29.1	20.0
	視覚障害	37	12	12	14	8	9	22	8	9
		100.0	32.4	32.4	37.8	21.6	24.3	59.5	21.6	24.3
	聴覚・言語障害	50	20	11	20	9	12	17	11	6
		100.0	40.0	22.0	40.0	18.0	24.0	34.0	22.0	12.0
	肢体不自由	183	55	37	67	32	42	89	57	28
		100.0	30.1	20.2	36.6	17.5	23.0	48.6	31.1	15.3
	内部障害	50	7	10	20	4	7	16	23	10
		100.0	14.0	20.0	40.0	8.0	14.0	32.0	46.0	20.0
	知的障害	255	10	80	148	4	72	157	49	68
		100.0	3.9	31.4	58.0	1.6	28.2	61.6	19.2	26.7
	精神障害	357	59	61	119	33	44	110	148	83
		100.0	16.5	17.1	33.3	9.2	12.3	30.8	41.5	23.2
発達障害	59	5	14	32	2	13	18	18	16	
	100.0	8.5	23.7	54.2	3.4	22.0	30.5	30.5	27.1	
高次脳機能障害	43	13	6	16	8	10	20	11	9	
	100.0	30.2	14.0	37.2	18.6	23.3	46.5	25.6	20.9	
難病	45	14	9	15	6	7	19	17	7	
	100.0	31.1	20.0	33.3	13.3	15.6	42.2	37.8	15.6	
その他	19	1	5	9	0	6	4	7	5	
	100.0	5.3	26.3	47.4	0.0	31.6	21.1	36.8	26.3	

障害の種別 × 中心的な介助者（家族）の年齢

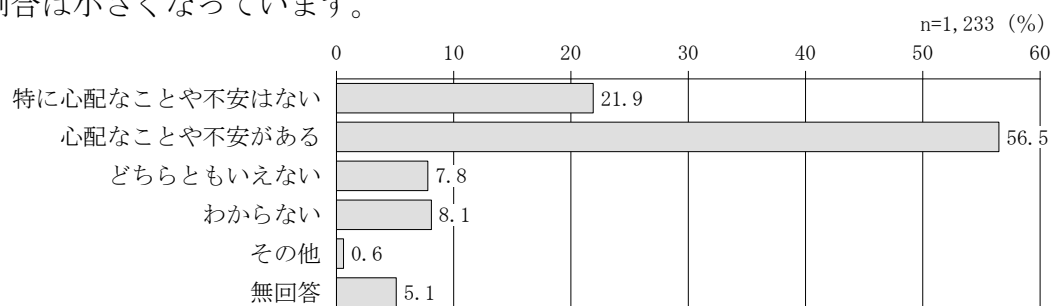
上段：実数 下段：%		中心的な介助者（家族）の年齢					
		全体	50歳代以 下	60歳代	70歳代	80歳代以 上	無回答
障害 の 種 別	全体	244	91	32	70	43	8
		100.0	37.3	13.1	28.7	17.6	3.3
	視覚障害	9	4	1	1	3	0
		100.0	44.4	11.1	11.1	33.3	0.0
	聴覚・言語障害	24	14	2	3	4	1
		100.0	58.3	8.3	12.5	16.7	4.2
	肢体不自由	58	26	6	14	12	0
		100.0	44.8	10.3	24.1	20.7	0.0
	内部障害	12	5	0	2	5	0
		100.0	41.7	0.0	16.7	41.7	0.0
	知的障害	74	11	11	30	19	3
		100.0	14.9	14.9	40.5	25.7	4.1
	精神障害	89	35	12	26	13	3
		100.0	39.3	13.5	29.2	14.6	3.4
発達障害	18	5	2	7	4	0	
	100.0	27.8	11.1	38.9	22.2	0.0	
高次脳機能障害	13	8	0	2	2	1	
	100.0	61.5	0.0	15.4	15.4	7.7	
難病	16	8	2	3	2	1	
	100.0	50.0	12.5	18.8	12.5	6.3	
その他	6	2	0	1	2	1	
	100.0	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7	

(2) “親なき後” 心配・不安や生活などの意向について

問9 あなた（ご本人）やご家族、支援者の方は、あなた（ご本人）の“親なき後”や、将来の生活について、心配なことや不安がありますか。

「心配なことや不安がある」と答えた人が半数以上です。「どちらともいえない」や「わからない」と答えた人もおり、「特に心配なことや不安はない」と答えた人は約2割でした。

障害別では、内部障害では「心配なことや不安がある」と答えた人は35.3%で、「特に心配なことや不安はない」と答えた人が45.1%と多くなっています。一方、知的障害、発達障害、精神障害では「特に心配なことや不安はない」と答えた人の割合は小さくなっています。



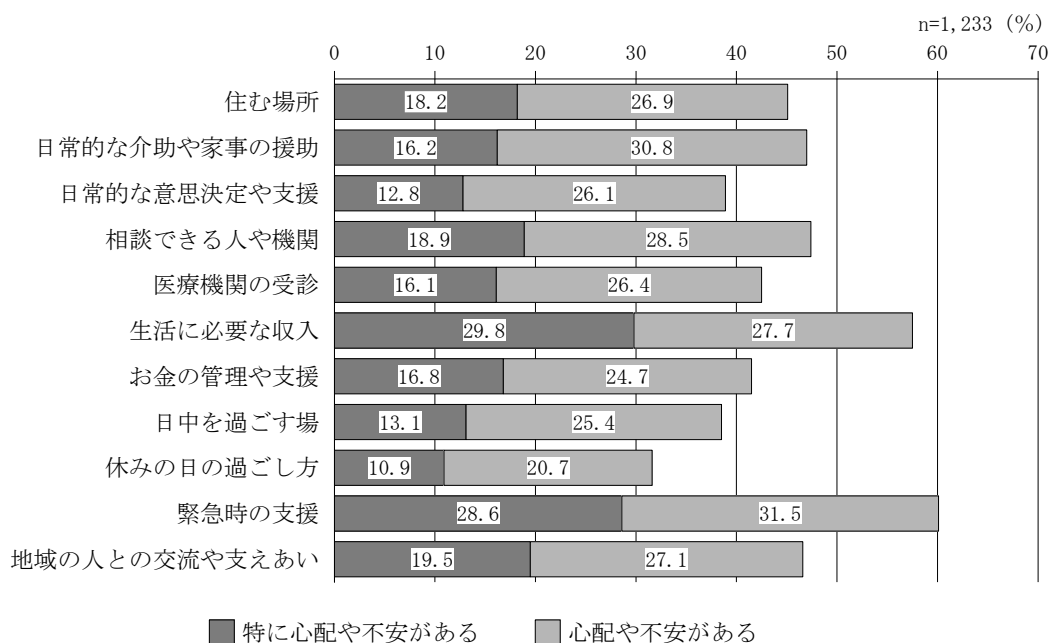
障害の種別 × “親なき後”の心配や不安

上段：実数 下段：%		“親なき後”の心配や不安						
		全体	特に心配な事や不安はない	心配な事や不安がある	どちらともいえない	わからない	その他	無回答
障害の種別	全体	1,233	270	697	96	100	7	63
		100.0	21.9	56.5	7.8	8.1	0.6	5.1
	視覚障害	44	10	26	5	1	0	2
		100.0	22.7	59.1	11.4	2.3	0.0	4.5
	聴覚・言語障害	69	15	36	9	4	0	5
		100.0	21.7	52.2	13.0	5.8	0.0	7.2
	肢体不自由	272	72	144	21	17	0	18
		100.0	26.5	52.9	7.7	6.3	0.0	6.6
	内部障害	153	69	54	15	10	1	4
		100.0	45.1	35.3	9.8	6.5	0.7	2.6
	知的障害	290	35	185	15	35	1	19
		100.0	12.1	63.8	5.2	12.1	0.3	6.6
	精神障害	479	68	313	33	40	6	19
		100.0	14.2	65.3	6.9	8.4	1.3	4.0
発達障害	74	9	51	6	6	0	2	
	100.0	12.2	68.9	8.1	8.1	0.0	2.7	
高次脳機能障害	50	8	27	3	5	0	7	
	100.0	16.0	54.0	6.0	10.0	0.0	14.0	
難病	58	11	35	4	5	0	3	
	100.0	19.0	60.3	6.9	8.6	0.0	5.2	
その他	26	3	18	0	2	0	3	
	100.0	11.5	69.2	0.0	7.7	0.0	11.5	

問10 あなた（ご本人）やご家族は、“親なき後”の生活に関するつぎのことについて、心配や不安を感じていますか。（複数回答可）

特に心配や不安があると答えた方が多かったのは「生活に必要な収入」と「急病や災害などの緊急時の支援」で、これらは障害の有無にかかわらず不安を感じる項目だと考えられますが、その他の項目についても、下のグラフのようにさまざまな心配や不安があることが示されています。

障害別で、特に不安や心配があることと心配や不安があることの合計をみると、「緊急時の支援」はすべての、「生活に必要な収入」もほとんどの障害で多くの人があげています。これら以外では、「日常的な介助や家事の支援」を肢体不自由、高次脳機能障害、難病、内部障害で、「相談できる人や機関」を発達障害、精神障害、高次脳機能障害で、「お金の管理の支援」を知的障害と視覚障害であげた人の割合が大きく、視覚障害と聴覚・言語障害では「地域の人との交流や支えあい」、聴覚・言語障害では「医療機関の受診」をあげた人の割合も大きくなっています。



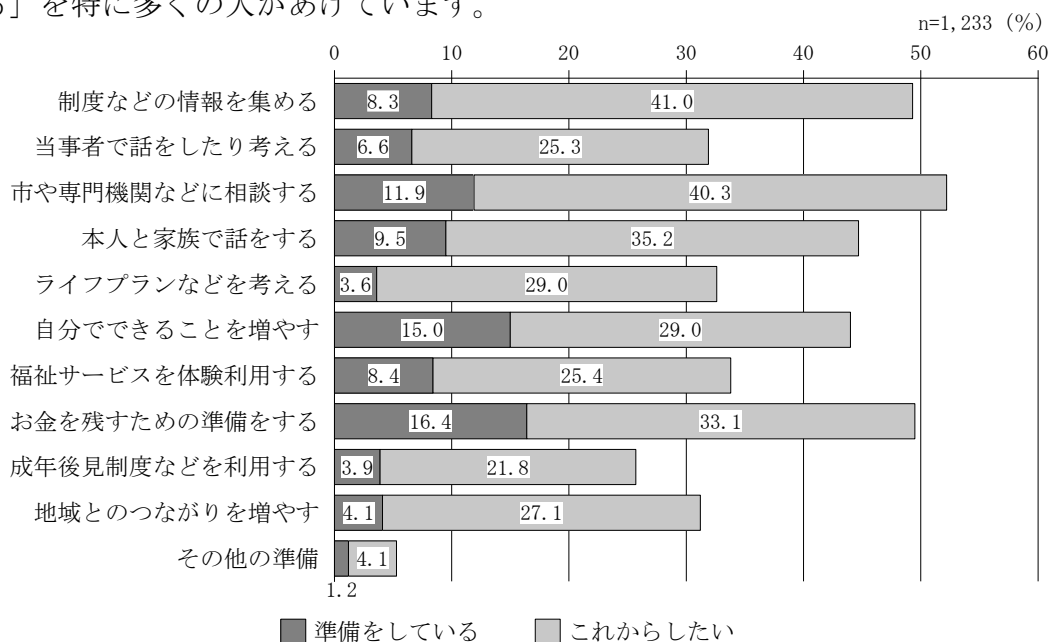
障害の種別 × “親なき後” の生活で心配や不安を感じる事（心配や不安がある + 特に心配や不安がある）

上段：実数 下段：%		“親なき後” の生活で心配や不安を感じる事（心配や不安がある + 特に心配や不安がある）											
		全体 (人)	住む場 所	日常的 な介助 や家事 の援助	日常的 な意思 決定や 支援	相談で きる人 や機関	医療機 関の受 診	生活に 必要な 収入	お金の 管理や 支援	日中を 過ごす 場	休みの 日の過 ごし方	緊急時 の支援	地域の 人との 交流や 支えあ い
障 害 の 種 別	全体	1,233	557	580	480	585	524	708	512	475	390	742	574
		100.0	45.1	47.0	38.9	47.4	42.5	57.5	41.5	38.5	31.6	60.1	46.6
	視覚障害	44	21	22	20	21	22	25	23	21	17	29	23
		100.0	47.7	50.0	45.5	47.8	50.0	56.8	52.3	47.7	38.6	65.9	52.3
	聴覚・言語 障害	69	33	29	27	32	35	34	26	26	20	42	36
		100.0	47.8	42.0	39.1	46.3	50.7	49.2	37.6	37.7	29.0	60.9	52.1
	肢体不自由	272	111	137	97	114	123	139	97	98	84	155	110
		100.0	40.9	50.4	35.7	41.9	45.3	51.1	35.6	36.0	30.9	57.0	40.5
	内部障害	153	44	47	28	44	43	64	40	41	30	67	44
		100.0	28.7	30.7	18.3	28.8	28.2	41.8	26.2	26.8	19.6	43.8	28.8
	知的障害	290	166	168	170	166	165	180	178	143	131	197	166
		100.0	57.3	57.9	58.7	57.3	56.9	62.0	61.4	49.3	45.2	67.9	57.2
	精神障害	479	251	254	218	277	213	327	214	214	172	323	267
		100.0	52.4	53.0	45.6	57.9	44.5	68.3	44.6	44.7	35.9	67.5	55.7
発達障害	74	43	38	37	47	38	52	41	42	29	50	44	
	100.0	58.1	51.4	50.0	63.5	51.4	70.2	55.4	56.7	39.2	67.5	59.5	
高次脳機能 障害	50	21	25	21	26	24	25	24	24	21	27	22	
	100.0	42.0	50.0	42.0	52.0	48.0	50.0	48.0	48.0	42.0	54.0	44.0	
難病	58	25	28	21	27	27	35	22	24	18	36	25	
	100.0	43.1	48.3	36.2	46.5	46.5	60.4	37.9	41.4	31.0	62.1	43.1	
その他	26	15	12	11	10	12	15	9	10	7	17	14	
	100.0	57.7	46.2	42.3	38.4	46.1	57.7	34.6	38.4	26.9	65.4	53.8	

問11 あなた（ご本人）やご家族は、“親なき後”への準備として、つぎのようなことをしていますか。また、現在まではしていないことで、これからしたいと思うことがありますか。

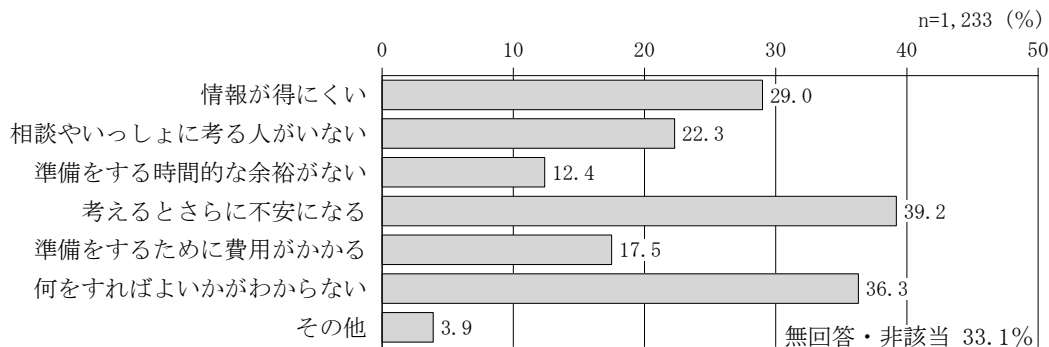
既に準備をしている人が多かったのは「ご本人が使えるお金を残すための準備をする」と「自分でできることを増やすためにトレーニングをする」です。

一方、これから準備したい項目としては「親なき後」の生活や、制度・サービスなどの情報を集める」と「市や専門機関、福祉の事業者、医療機関などに相談する」を特に多くの人があげています。



問12 あなた（ご本人）やご家族は、“親なき後”への準備をするうえで、困ることがありますか。（複数回答可）

「親なき後」のことを考えると、さらに不安になる」ことや「何をすればよいか」がまったくわからない」ことを特に多くの人があげています。具体的な取り組みに関することでは「情報が得にくい」ことを多くの人があげています。

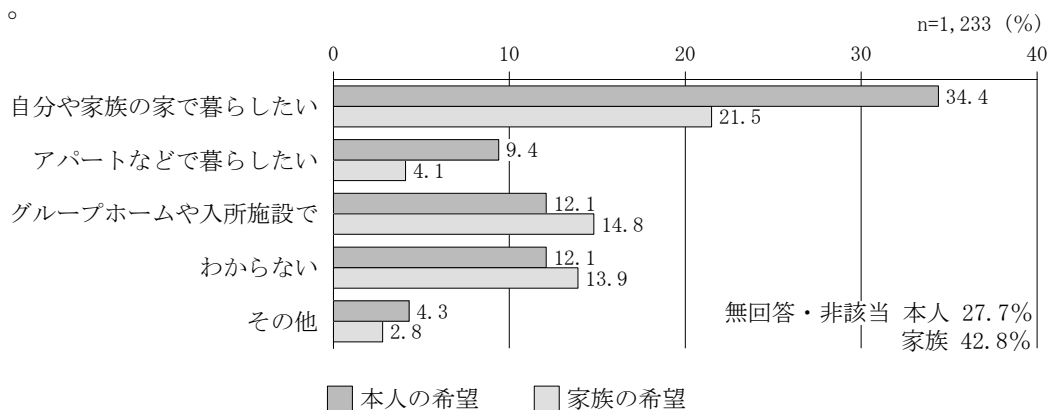


問13 あなた（ご本人）やご家族は、“親なき後”にどのような暮らし方をしたいと思いますか。「ご本人」「ご家族」それぞれの希望をお答えください。

“親なき後”の暮らし方のご本人と家族の希望は下のグラフのとおりです。なお、自宅とグループホームなど、複数の選択肢に○を付けた方は「その他」で集計しています。

ご本人がひとりで回答された場合は、家族の意向を聞いていないという意味で「わからない」や無回答も多くなっていると考えられるため、単純に比較することはできませんが、ご本人と家族の希望をクロスしてみても、例えば、ご本人が自分や家族の家、家族がグループホームや入所施設を希望するなど、異なる希望が示されたケースもあります。

障害別では、ご本人家族ともに、知的障害は「グループホームや入所施設」をあげた人が最も多く、その他の障害では「自分や家族の家」をあげた人が多いですが、精神障害と発達障害のご本人は「アパートなど」をあげた人が、また、視覚障害ではご本人、家族ともに「グループホームや入所施設」をあげた人も多くなっています。



本人の暮らし方の希望 × 家族の暮らし方の希望

上段：実数 下段：%		本人の暮らし方の希望					
		全体	自分や家族の家で暮らしたい	アパートなどで暮らしたい	グループホームや入所施設で	わからない	その他
本人の暮らし方の希望	全体	1,233	265	50	183	172	35
		100.0	21.5	4.1	14.8	13.9	2.8
	自分や家族の家で暮らしたい	424	244	5	27	50	12
		100.0	57.5	1.2	6.4	11.8	2.8
	アパートなどで暮らしたい	116	7	40	7	19	1
		100.0	6.0	34.5	6.0	16.4	0.9
グループホームや入所施設で	149	1	1	108	8	1	
	100.0	0.7	0.7	72.5	5.4	0.7	
わからない	149	7	1	27	79	2	
	100.0	4.7	0.7	18.1	53.0	1.3	

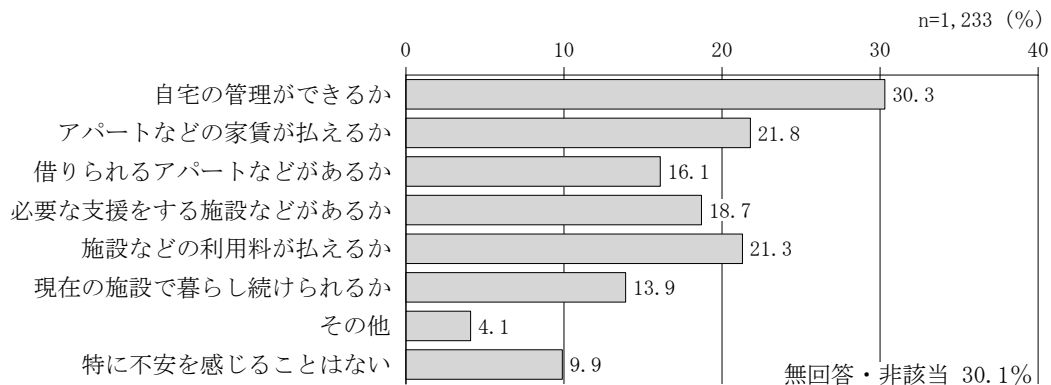
障害の種別 × “親なき後”の暮らし方の希望

上段：実数 下段：%		本人の暮らし方の希望					
		全体	自分や家族の家で暮らしたい	アパートなどで暮らしたい	グループホームや入所施設で	わからない	その他
障害の種別	全体	1,233	424	116	149	149	53
		100.0	34.4	9.4	12.1	12.1	4.3
	視覚障害	44	15	2	9	3	2
		100.0	34.1	4.5	20.5	6.8	4.5
	聴覚・言語障害	69	25	4	8	4	8
		100.0	36.2	5.8	11.6	5.8	11.6
	肢体不自由	272	94	12	32	35	12
		100.0	34.6	4.4	11.8	12.9	4.4
	内部障害	153	57	6	6	8	3
		100.0	37.3	3.9	3.9	5.2	2.0
	知的障害	290	78	13	95	39	8
		100.0	26.9	4.5	32.8	13.4	2.8
	精神障害	479	187	73	33	65	29
		100.0	39.0	15.2	6.9	13.6	6.1
発達障害	74	28	10	7	11	5	
	100.0	37.8	13.5	9.5	14.9	6.8	
高次脳機能障害	50	13	5	4	7	4	
	100.0	26.0	10.0	8.0	14.0	8.0	
難病	58	25	1	3	10	2	
	100.0	43.1	1.7	5.2	17.2	3.4	
その他	26	7	6	1	8	0	
	100.0	26.9	23.1	3.8	30.8	0.0	

上段：実数 下段：%		家族の暮らし方の希望					
		全体	自分や家族の家で暮らしたい	アパートなどで暮らしたい	グループホームや入所施設で	わからない	その他
障害の種別	全体	1,233	265	50	183	172	35
		100.0	21.5	4.1	14.8	13.9	2.8
	視覚障害	44	10	1	10	4	1
		100.0	22.7	2.3	22.7	9.1	2.3
	聴覚・言語障害	69	16	2	10	11	4
		100.0	23.2	2.9	14.5	15.9	5.8
	肢体不自由	272	54	6	49	32	8
		100.0	19.9	2.2	18.0	11.8	2.9
	内部障害	153	43	2	7	8	1
		100.0	28.1	1.3	4.6	5.2	0.7
	知的障害	290	51	4	117	21	10
		100.0	17.6	1.4	40.3	7.2	3.4
	精神障害	479	118	30	35	99	16
		100.0	24.6	6.3	7.3	20.7	3.3
発達障害	74	22	3	10	14	3	
	100.0	29.7	4.1	13.5	18.9	4.1	
高次脳機能障害	50	7	2	7	9	2	
	100.0	14.0	4.0	14.0	18.0	4.0	
難病	58	14	0	10	12	0	
	100.0	24.1	0.0	17.2	20.7	0.0	
その他	26	3	4	3	5	2	
	100.0	11.5	15.4	11.5	19.2	7.7	

問14 あなた（ご本人）やご家族は、“親なき後”の住まいについて、心配なことや不安を感じることがありますか。（複数回答可）

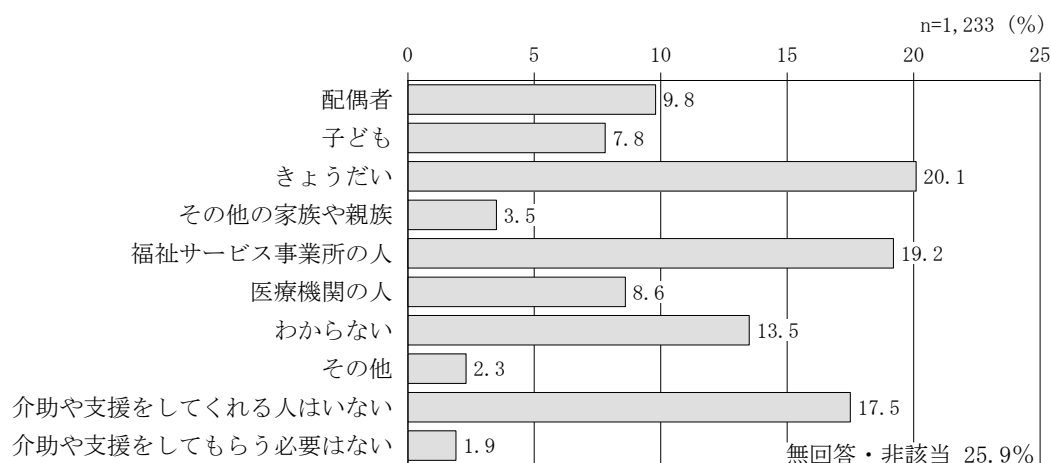
問14は複数回答で尋ねたため問13の回答とは必ずしも連動していませんが、暮らしの基盤となる住まいについて、自宅、アパート等、グループホームや施設などのそれぞれについて、さまざまな面での心配や不安があることが示されています。



問15 あなた（ご本人）は、“親なき後”に、日常の生活の介助や支援をしてくれる（してくれると期待できる）人がいますか。（複数回答可）

“親なき後”の支援を期待する人では「きょうだい」が最も多くあげられています。「福祉サービス事業所の人」なども多くあげられていますが、「わからない」や「介助や支援をしてくれる人はいない」と答えた人も少なくありません。

障害別では、「きょうだい」はすべての、「福祉サービス事業所」もほとんどの障害で多くの人があげていますが、「わからない」も多くの障害に共通して多くなっています。精神障害では「医療機関」をあげた人の割合が大きく、肢体不自由では「配偶者」、内部障害では「配偶者」と「子ども」をあげた人の割合も大きめです。



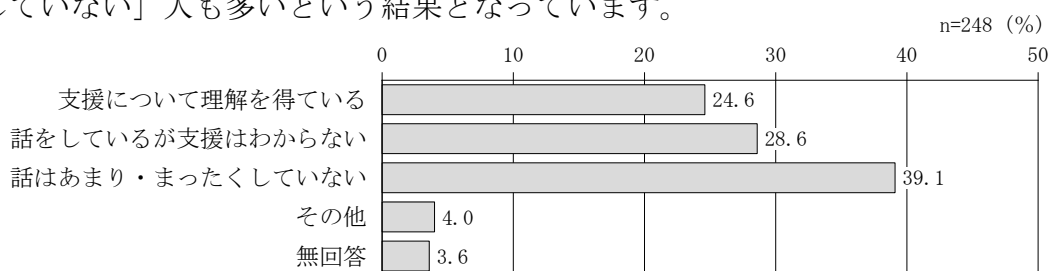
障害の種別 × “親なき後”の心配や不安

上段：実数 下段：%		“親なき後”の心配や不安								
		全体	配偶者	子ども	きょうだい	その他の家族や親族	福祉サービス事業所の人	医療機関の人	わからない	その他
障害の種別	全体	1,233	121	96	248	43	237	106	166	28
		100.0	9.8	7.8	20.1	3.5	19.2	8.6	13.5	2.3
	視覚障害	44	6	3	12	2	12	2	7	0
		100.0	13.6	6.8	27.3	4.5	27.3	4.5	15.9	0.0
	聴覚・言語障害	69	12	11	19	3	13	3	13	3
		100.0	17.4	15.9	27.5	4.3	18.8	4.3	18.8	4.3
	肢体不自由	272	34	25	58	11	54	14	26	9
		100.0	12.5	9.2	21.3	4.0	19.9	5.1	9.6	3.3
	内部障害	153	20	15	24	4	11	5	10	3
		100.0	13.1	9.8	15.7	2.6	7.2	3.3	6.5	2.0
	知的障害	290	6	6	91	12	90	15	42	4
		100.0	2.1	2.1	31.4	4.1	31.0	5.2	14.5	1.4
	精神障害	479	48	39	93	16	103	77	77	12
		100.0	10.0	8.1	19.4	3.3	21.5	16.1	16.1	2.5
発達障害	74	3	7	19	2	13	9	13	1	
	100.0	4.1	9.5	25.7	2.7	17.6	12.2	17.6	1.4	
高次脳機能障害	50	5	5	12	4	10	3	8	2	
	100.0	10.0	10.0	24.0	8.0	20.0	6.0	16.0	4.0	
難病	58	8	6	9	1	9	5	9	2	
	100.0	13.8	10.3	15.5	1.7	15.5	8.6	15.5	3.4	
その他	26	0	1	9	3	9	3	2	2	
	100.0	0.0	3.8	34.6	11.5	34.6	11.5	7.7	7.7	

きょうだいの介助や支援を期待する方におたずねします。

問15-① あなた（ご本人）の“親なき後”の支援について、きょうだいと話をされていますか。

問15で「きょうだい」の支援を期待すると答えた人のうち、「きょうだいと話をして、“親なき後”の支援について理解を得ている」と答えた人は24.6%にとどまり、「きょうだいと話をしているが、“親なき後”の支援ができるかどうかは、わからない」や「きょうだいと“親なき後”の支援についての話はあまり（まったく）していない」人も多いという結果となっています。



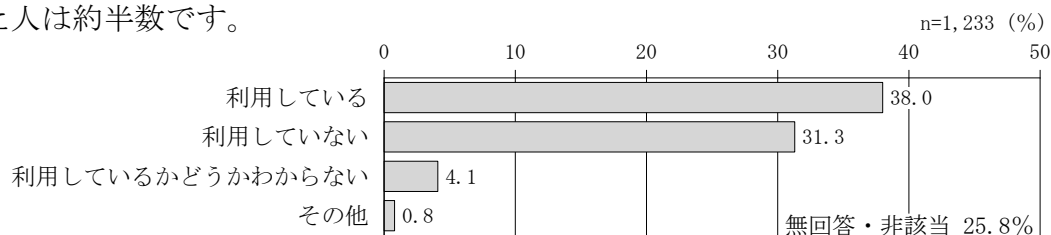
なお、きょうだいが、この調査の回答に記入や相談などで関わったケースでは、きょうだいの意向が回答にある程度反映されていると考えられるため、該当する63件についてみると、現在、介助や支援をしているきょうだいは38人（うち、主たる介助・支援者は8人）です。また、“親なき後”の支援をする人については41人が「きょうだい」をあげていますが、「話をして、支援について理解を得ている」のはその31.7%の13人、「話をしているが、支援ができるかどうかは、わからない」も同じく31.7%の13人で、現在、介助や支援をしていたとしても、“親なき後”の支援をきょうだいが担えるとは限らないという意識がうかがえます。

きょうだいが調査票を記入・相談したケースの状況

	きょうだいが調査票の記入に関わったケース (63件)	全体 (248件)
現在、介助や支援をしているきょうだい	38人	145人
うち、主たる介助者・支援者	8人	21人
“親なき後”にきょうだいに介助・支援を期待する人	41人	248人
話をして支援について理解をしている人	13人 (31.7%)	61人 (24.6%)
話をしているが、支援できるかどうかわからない人	13人 (31.7%)	71人 (28.6%)
話は（あまり）していない人	10人 (24.4%)	97人 (39.1%)
その他	2人 (4.9%)	10人 (4.0%)
無回答	3人 (7.3%)	9人 (3.6%)

問16 あなた（ご本人）は、現在、障害福祉サービス等を利用していますか。

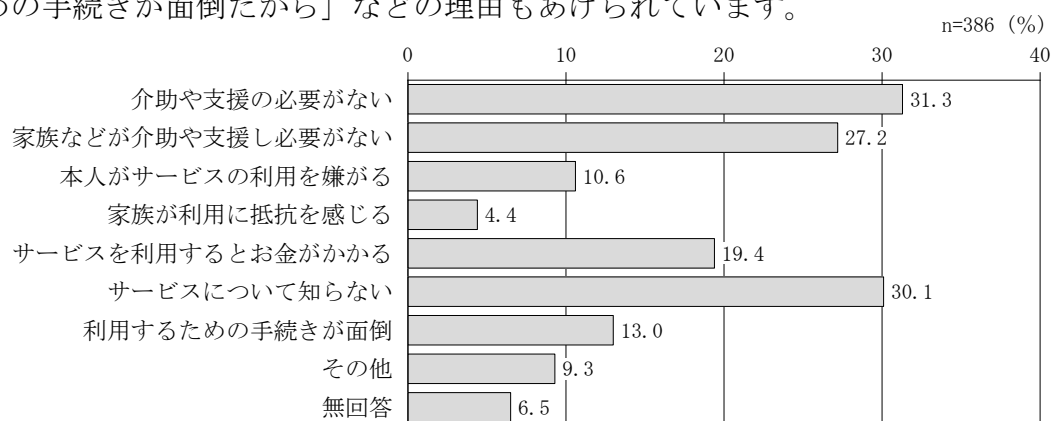
無回答の人を除いてみると、現在、障害福祉サービス等を利用している人と答えた人は約半数です。



障害福祉サービス等を利用していない方におたずねします。

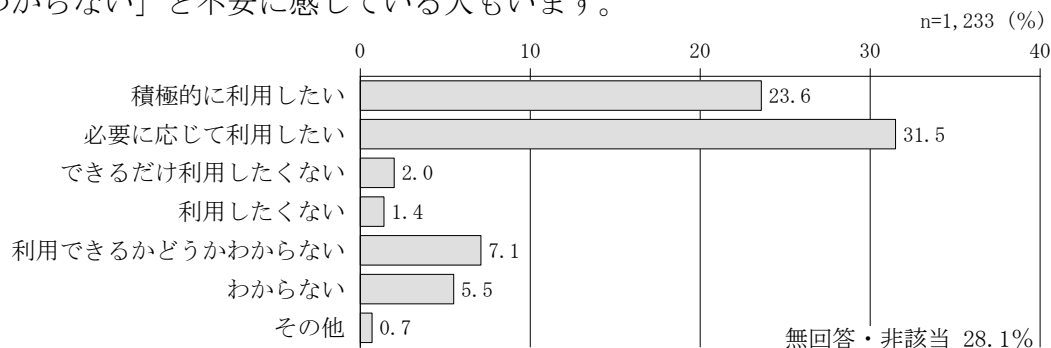
問16-① 障害福祉サービス等を利用していない理由は。（複数回答可）

現在、障害福祉サービスを利用していない理由は「介助や支援の必要がないから」や「家族が介助や支援をしていて、サービスを利用する必要がないから」と答えた人が多いですが、「サービスについて知らないから」と答えた人が約3割であることに加え、「サービスを利用するとお金がかかるから」、や「サービスを利用するための手続きが面倒だから」などの理由もあげられています。



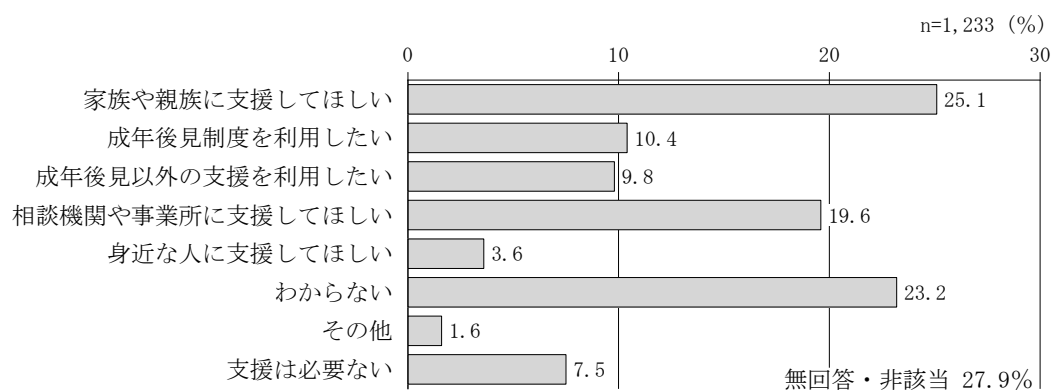
問17 あなた（ご本人）やご家族は、“親なき後”に介助や支援が必要になった場合、障害福祉サービス等を利用したいと思いますか。

“親なき後”に必要なになったときには、多くの方が「積極的に利用したい」、「必要に応じて利用したい」と答えています。また、「利用したいが、利用できるかどうかわからない」と不安に感じている人もいます。



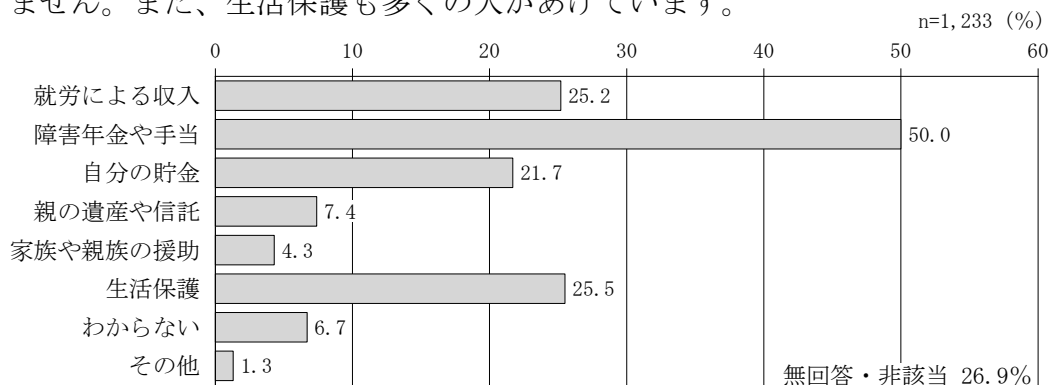
問18 あなた（ご本人）やご家族は、“親なき後”の日常生活での意思決定や金銭管理の支援について、どのようにしたいと考えていますか。（複数回答可）

“親なき後”の意思決定や金銭管理の支援は「家族や親族に支援してほしい」が最も多いですが、「相談機関や福祉サービス事業所などの人に支援してほしい」と答えた人も多くなっています。また、「成年後見制度を利用したい」を10.4%、「日常生活自立支援事業など、成年後見以外の支援を利用したい」を9.8%の人があげており、支援する制度や事業による支援へのニーズも示されています。



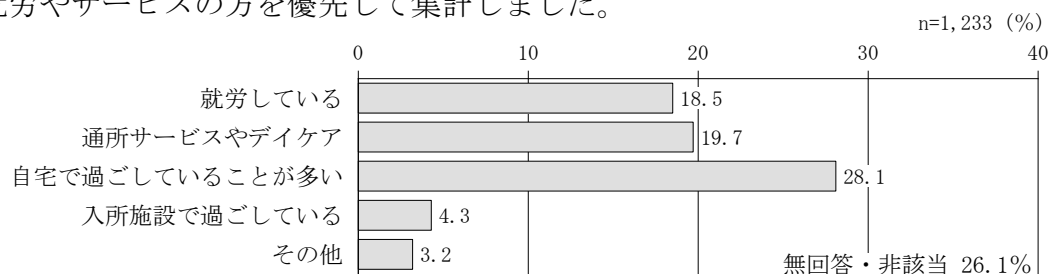
問19 あなた（ご本人）やご家族は、“親なき後”の生活に必要な収入を、どのような方法で確保したいと考えていますか。（複数回答可）

将来の収入を確保する方法の見込みや希望は、下のグラフのとおりです。障害年金や手当を多くの方があげていますが、就労による収入を考えている人も少なくありません。また、生活保護も多くの方があげています。



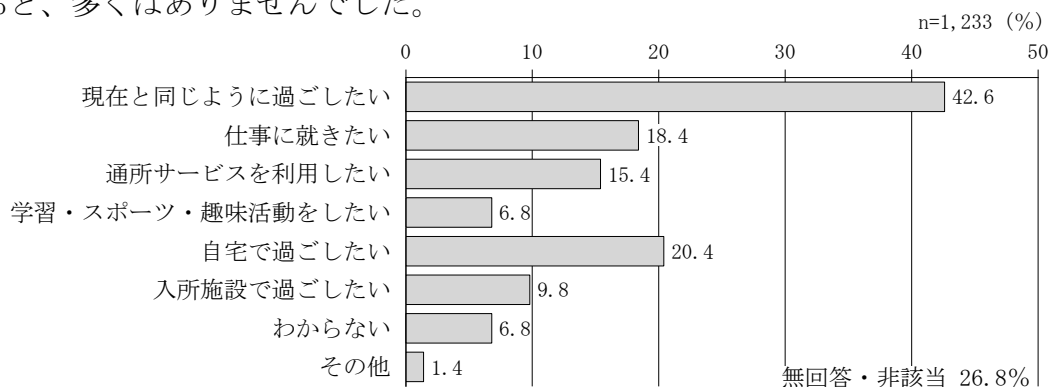
問20 あなた（ご本人）は、現在、平日の昼間は主にどのように過ごしていますか。

「就労している」人や「通所サービスやデイケアに通っている」人が少なくありませんが、無回答以外では4割近くの方が「自宅で過ごしていることが多い」と答えています。なお、就労や通所サービスの頻度が少ないため「自宅で過ごしていることが多い」と複数で○を付けた方もおられますが、社会参加の状況を示すよう、就労やサービスの方を優先して集計しました。



問21 あなた（ご本人）やご家族は、“親なき後”の昼間の過ごし方について、どのようにしたいと考えていますか。（複数回答可）

今後も「可能な間は、現在と同じように過ごしたい」と答えた人が多くなっていますが、現在の昼間の暮らし方とクロスすると、現在は「自宅で過ごしていることが多い」人で、新たに就労や通所サービスの利用を希望する人も少なくありません。一方、「生涯学習や文化、スポーツの活動、趣味の活動をしたい」と答えた人は8.8%と、多くはありませんでした。



現在の平日の昼間の過ごし方 × “親なき後”の昼間の過ごし方

	上段：実数 下段：%	“親なき後”の昼間の過ごし方								
		合計	現在と同じように過ごしたい	仕事に就きたい	通所サービスを利用したい	学習・スポーツ・趣味活動をしたい	自宅で過ごしたい	入所施設で過ごしたい	わからない	その他
現在の平日の昼間の過ごし方の主な過ごし方	全体	1,233 100.0	525 42.6	227 18.4	190 15.4	84 6.8	251 20.4	121 9.8	84 6.8	17 1.4
	就労している	228 100.0	164 71.9	87 38.2	10 4.4	19 8.3	36 15.8	7 3.1	9 3.9	1 0.4
	通所サービスやデイケア	243 100.0	142 58.4	38 15.6	131 53.9	22 9.1	42 17.3	52 21.4	14 5.8	3 1.2
	自宅で過ごしていることが多い	347 100.0	182 52.4	87 25.1	30 8.6	32 9.2	153 44.1	20 5.8	46 13.3	9 2.6
	入所施設で過ごしている	53 100.0	13 24.5	1 1.9	12 22.6	1 1.9	3 5.7	33 62.3	6 11.3	1 1.9
	その他	40 100.0	21 52.5	11 27.5	6 15.0	8 20.0	12 30.0	7 17.5	5 12.5	2 5.0

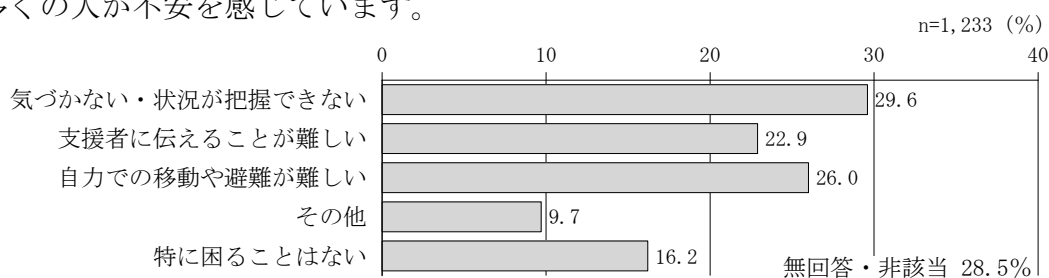
問22 あなた（ご本人）やご家族は、現在、障害や生活に関することを、だれ（どこ）に相談していますか。（複数回答可）

障害や生活に関して、現在、相談している先は「寝屋川市の窓口」、「医療機関」、「障害福祉サービス事業所」が多くあげられています。ただし、いずれかの相談先とあわせて「どこも相談すればよいかわからない」と答えた人もおられ、相談先との関わりの程度などは、さまざまであると考えられます。



問23 あなた（ご本人）は、ご家族などがいないときに急病や災害などの緊急事態が生じたら、困ることがありますか。（複数回答可）

下のグラフのように、緊急時の対応には情報の把握や伝達、避難などについて、多くの人不安を感じています。



問24 あなた（ご本人）やご家族は、“親なき後”の生活を支えたり豊かにするために、地域の方々にお願いをしたいことがありますか。（複数回答可）

問23で多くの方が緊急時の対応に不安を感じていることとも関連し、「災害などの緊急時には避難の支援などをしてほしい」を多くの方があげています。また、「さりげなく見守ったり、気にかけてほしい」、「出会ったらあいさつをしたり、声をかけてほしい」などのゆるやかな支援とともに、「可能な範囲で、日常生活を支援してほしい」と答えた人も少なくありませんでした。

一方で、いずれかの選択肢とともに「地域の人に支えてもらうことは難しい」や「地域の人をお願いしたいことはない」にも○を付けた人もおり、地域の人とつながることへの難しさも示されていると考えられます。

